SDGsは、日本も積極的に取り組む国際目標。

SDGsとは、「SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALs」の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」を意味します。このSDGsは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。**SDGsは発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。**

SDGsは格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、全ての国に適用される普遍的（ユニバーサル）な目標です。また、その達成のために、先進国も途上国も含む各国政府や市民社会、民間セクターを含む様々なアクター（主体）が連携し、ODAや民間の資金も含む様々なリソースを活用していく「グローバル・パートナーシップ」を築いていくこととされています。

SDGsは世界のこと？ 2030年までに「栃木で」どこまで課題を解決できるか。

栃木県内のNPO活動には、SDGsに直結する様々な取り組みがありますが、まだまだ小さな動きでインパクトは大きくありません。一方、県内の中小企業は地域変革、地域の課題解決の大きなポテンシャルをもっていますが、社会課題との接点や解決のアクションは多くありません。2030年までに「栃木で」どこまで課題を解決できるか。本ネットワークでは、SDGsのゴール達成に向けて、企業や分野を超えたNPOが集まり、これまでの発想ではない新しい発想で課題解決策を生み出していきます。

SDGs実践ネットワークのアプローチ

NPOと企業がともにSDGsについて考え、アイディアや生み出していく場をつくります。
① SDGs達成に資する、NPOの活動を強化、拡大、深化させる（スケール）
② 企業の本業や培った技能を、社会課題につなげていく（ソーシャル化）
③ これまでにない新しい活動を創出する（多様な企業、NPOの集合知）
ネットワークはこれらの動きが円滑にダイナミックに進むようにサポートしていきます。

活動予定

ネットワーク会員限定です。

・**実践ネットワーク会議＆勉強会**（年6回）
【内容テーマ例】
SDGs取り組み好事例、地方創生とSDGsなど。

・**メールマガジン毎月2回**
SDGsに関する最新動向をお届けします。

・**栃木のSDGsの取り組みのポータルサイト**を開設予定。
みなさまの取り組みもぜひ発信してください。

入会のお申込み

とちぎSDGs実践ネットワークへの入会のお申込みご希望の方は、別紙お申込書にてお申込み・入会金をお振込みください。

お問い合せ

とちぎSDGs実践ネットワークに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

NPO法人トチギ環境未来基地（担当：塚本）
tochigi@conservation-corps.jp
0285-81-5373
https://www.tochigi-cc.org/